資料１

R8第1回　経営評価委員会

西脇市立西脇病院
経営強化プランの
推進状況
（令和7年度）

令和８年８月２４日

目　　次

Ⅰ　令和７年度の収支状況

１　概　　況　・・・・・・・・・・・・　Ｐ３

２　収支状況　・・・・・・・・・・・・　Ｐ４

３　経営指標　・・・・・・・・・・・・　Ｐ５

４　主な取組と効果　・・・・・・・・・・・・　Ｐ６

Ⅱ　目標進捗状況

１　基本事項　・・・・・・・・・・・　Ｐ７

２　医療の質の向上　・・・・・・・・　Ｐ８～

３　経営資源の強化　・・・・・・・・　Ｐ１２～

４　職員の確保と意欲向上　・・・・・・　Ｐ２１～

５　再編・ネットワーク化　・・・・・・　Ｐ２４

Ⅰ　令和７年度の収支状況

１　概　況

コンサルの提案に基づく経営改善の取り組みに一定の成果が出たものの、平均在院日数の短縮や外科系患者の減少により、１日当たり患者数は入院で 259.3人（R6年度 270.5人）、外来で 423.6人（同 425.7人）といずれも前年度より減少したこと等により医業収益は減少した。

費用面では人事院勧告によるベースアップや物価高騰により給与費、経費が増加したが、減価償却費が減少したため総費用では１億円余り減少した。

純損益は△４億14百万円の赤字となり前年度（△５億85百万円）より１億71百万円改善したが、特別利益（退職給付引当金の戻入３億円）を除く経常損益では１億19百万円の悪化であり、厳しい経営状況となっている。

２　収　支　状　況

（単位：百万円）

区分			R6年度	R7年度	対前年 増減	対前年 比率（%）
収益	総収益		8,521	8,579	58	100.7
	医業収益		7,222	7,031	△191	97.4
	うち	入院収益	5,221	5,042	△179	96.8
		外来収益	1,770	1,747	△23	98.7
		その他	231	242	11	104.8
	医業外収益		1,287	1,244	△43	96.7
	特別利益		12	304	292	2,533.3
費用	総費用		9,106	8,993	△113	98.8
	医業費用		8,905	8,797	△108	98.8
	うち	職員給与費	4,655	4,751	96	102.1
		材料費	1,802	1,724	△78	95.7
		経費	1,616	1,729	113	107.0
		減価償却費	773	556	△217	71.9
		その他	59	37	△22	62.7
	医業外費用		193	186	△7	96.4
	特別損失		8	10	2	125.0
差引	経常損益		△589	△708	△119	120.0
	純損益		△585	△414	171	70.8

３　経　営　指　標

区分			単位	R6年度実績	R7年度目標	R7年度実績	対前年 増減	対前年 比率(%)	評価
業務量	患者数	1日当たり入院患者数（病床稼働率）	人	270.5	279.0	259.3	△11.2	95.9	C
			%	84.5	87.2	81.0	△3.5	―	
		1日当たり外来患者数	人	425.7	470.0	423.6	△2.1	99.5	C
	診療単価	入　院	円	52,876	55,080	53,269	393	100.7	B
		外　来	円	17,111	18,334	17,040	△71	99.6	C
	入院・外来収益		億円	69.9	76.9	67.9	△2.0	97.1	C
財務指標	経常収支比率		%	93.5	92.6	92.1	△1.4	―	C
	職員給与費比率		%	64.5	61.9	67.6	3.1	―	C
	材料費比率		%	25.0	23.3	24.5	△0.5	―	B
	経費比率		%	22.4	23.4	24.6	2.2	―	C

［　評価方法　　A:実績＞目標・前年　　B:目標＞実績＞前年、前年＞実績＞目標　　C:目標・前年＞実績　］

４　主な取組と効果（R7年度）

※院内にプロジェクトチームを設置して対応

⑴ リハビリテーション強化　４月から取組
⑵ 看護職員配置関係加算
　看護補助体制加算25対１（補助者割合５割以上）　令和８年２月取得
⑶ 診療録体制管理加算ランクアップ（３→２）６月取得
⑷ 救急医療管理加算算定強化　４月から実施
⑸ 室料差額徴収向上　４月から取組
⑹ 看護師確保・離職防止への対策　タスクシフト、タスクシェアの検討
⑺ 医師特別勤務手当適正化の調整（令和８年度実施）
⑻ LED化への取組　切替による電気代削減
⑼ 薬品費・診療材料費の費用低減

【効果試算額】１億８百万円

Ⅱ　目標進捗状況

１　基　本　事　項

⑴　今後果たすべき役割

取組状況	・　地域医療支援病院の承認要件を維持　　・　3.0テスラMRIの運用強化 ・　新型コロナウイルス感染症対策の徹底及び陽性患者の入院受入れ ・　認定看護師資格の取得に向けた取組 ・　臨床研修指導医資格の取得に向けた取組	自己評価 B

⑵　一般会計繰出金

取組状況	【一般会計繰出金】 ・一般会計負担金 1,000百万円（６年度同額）　※総務省繰出基準内 内訳：収益的収入494百万円（６年度622） 資本的収入506百万円（６年度378） ・一般会計補助金 収益的収入 250百万円（６年度同額）	自己評価 A

⑶　病院と地域の連携

取組状況	・　地域医療検討会への参加 ・「西脇市の地域医療を守る条例」に対応した普及啓発の強化 ・　医師会、薬剤師会、小児医療を守る会、地域医療を支える市民の会、商業連合会等との連携	自己評価 A

２　医療の質の向上

(1) がん治療の医療体制の構築

主な取組目標

a.　がん診療連携拠点病院に準じる病院の継続

b.　がん相談支援センター機能の充実

c.　病診連携の強化

d.　人間ドックのオプション検査等

e.　がん関連認定看護師等の育成

取組状況

a.　令和７年度から「がん診療連携拠点病院に準ずる病院」として、引き続き、手術、化学療法、放射線治療等による集学的治療を継続している。

b.　診断・告知から患者ニーズを把握し、院内職員の連携により早期から積極的な相談支援を行っている

c.　内科医が地域の開業医からの診療相談等の電話を直接受ける「内科ホットライン」を運用し、病診連携の強化に努めている。

d.　乳がん検診について、女性スタッフでの対応を継続し、受診の促進に努めている。

e.　がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師及びがん化学療法看護認定看護師が中心となり、看護師の育成に取り組んでいる。

自己評価

B

主な実績

項　　目		R5年度実績	R6年度実績	R7年度目標	R7年度実績	推進状況
新入院がん患者数	(人)	920	1,114	1,100	950	C
放射線治療延患者数	(人)	1,688	1,321	1,500	1,367	B
外来化学療法延患者数	(人)	1,467	1,329	1,500	927	C
３がん(子宮、肺、乳)合計検診	(人)	1,328	1,398	1,350	1,387	B
高度機器(CT,MRI,RI,ﾏﾝﾓ)撮影件数	(件)	22,898	22,106	22,500	21,024	C

２　医療の質の向上

⑵　脳卒中治療の病病、病診連携体制の構築

主な取組目標	取組状況	自己評価
a.　クリニカルパスの効果的な運用 b.　3.0テスラＭＲＩの運用 c.　認定看護師の育成 d.　緊急時の積極的な受け入れ	a.　クリニカルパスの効率的な運用のため、圏域内の連携病院を増やしていく。 b.　紹介患者、救急検査の受入に努めた。 c.　摂食・嚥下障害看護認定看護師を入院棟に配置し、ＮＳＴなどの活動を行っており、脳卒中リハビリ認定看護師を育成している。 d.　開業医訪問、消防との症例検討会を実施し患者紹介、救急患者の積極的な受け入れを行った。	C

主な実績

項　　目		R5年度実績	R6年度実績	R7年度目標	R7年度実績	推進状況
パスによる紹介件数	(件)	42	63	60	25	C
脳卒中(脳外科)入院件数	(件)	310	312	400	278	C
脳血管治療件数	(件)	100	88	150	70	C

２　医療の質の向上

⑶　幅広い糖尿病治療により選ばれる病院の構築

主な取組目標	取組状況	自己評価
a.　糖尿病教室 b.　外来や予防指導の充実 c.　糖尿病患者への栄養指導 d.　専門知識を持つスタッフの育成 e.　教育入院の受入れ	a.　参加型糖尿病教室を開催した。 b.　「にしわき糖尿病レター」を発刊し、医師会と連携して療養指導を行った。 c.　外来栄養指導の当日依頼を積極的に受け入れている。 d.　糖尿病療養指導士を中心に、研修に参加した。 e.　関係職員でチームを組んで患者さんの指導を行った。	B

主な実績

項目		R5年度実績	R6年度実績	R7年度目標	R7年度実績	推進状況
入院透析	(件)	1,124	890	900	1,088	A
外来透析	(件)	6,536	6,235	6,000	5,760	C
栄養指導件数	(件)	1,820	1,768	1,800	1,972	A
NST介入件数	(件)	874	930	1,100	973	B

２　医療の質の向上

(4)　資格取得などによる医療提供力の強化

主な取組目標	取組状況	自己評価
a.　認定看護師教育課程受講 b.　臨床研修指導医講習受講	a.　認定看護師の受講には至らなかった。 b.　小児科医１名が講習受講した。	B

主な実績

項　　目		R5年度実績	R6年度実績	R7年度目標	R7年度実績	推進状況
資格・認定取得者数	（人）	0	1	2	1	B

３　経営資源の強化

(1)　入院収益の確保

主な取組目標	取組状況	自己評価
a.　ハイケアユニット入院医療管理料１及び急性期一般入院料２の維持 b.　大腿骨頸部骨折の救急患者受入れ早期手術の実施（48時間以内） c.　施設基準の取得等	a.　救急患者、紹介患者の安定確保を日々の病床管理における重症度、医療・看護必要度基準の充足と制度管理に努めた。 b.　多職種連携によるチーム医療の強化、内科医師による介入など受け入れやすい体制を構築して受入れを促進している。 c.　看護補助者の確保による急性期看護補助体制加算25対１の上位基準、診療情報データの抽出、管理の体制整備による診療録管理体制加算の上位基準の取得に取り組んだ。	B

主な実績

項目		R5年度実績	R6年度実績	R7年度目標	R7年度実績	推進状況
１日平均入院患者数	(人)	269.4	270.5	279.0	259.3	C
病床稼働率	(%)	85.6	84.5	87.2	81.0	
１人１日入院診療単価	(円)	52,800	52,876	55,080	53,269	B
入院収益（１月当り）	(億円)	4.34	4.35	4.67	4.20	C

3　経営資源の強化

(2)　外来収益の確保

主な取組目標	取組状況	自己評価
a.　救急医療体制の強化 b.　外来診療体制の充実 c.　地域の医療機関との連携強化 （情報共有・情報提供）	a.　開業医訪問、消防との症例検討会開催など連携強化を図ることにより、積極的な救急患者の受入れ・確保に努めた。 b.　皮膚科夜間診察の実施、泌尿器科常勤医師の確保、減量支援外来の運用開始により患者数の増加に取り組んだ。 c.・病院の取組みに関する情報提供を行うため、地域の開業医への訪問や広報紙の発行を積極的に行った。 ・内科医が地域の開業医からの診療相談等の電話を直接受ける「内科ホットライン」の運用を進めている。 ・地域の開業医からの患者紹介に対して、迅速に回答書を作成した。	C

主な実績

項目		R5年度実績	R6年度実績	R7年度目標	R7年度実績	推進状況
1日平均外来患者数	(人)	437.9	425.7	470.0	423.6	C
1人1日外来診療単価	(円)	17,243	17,111	18,344	17,040	C
外来収益（1月当り）	(億円)	1.53	1.48	1.74	1.46	C

３　経営資源の強化

⑶　その他収益の確保

主な取組目標	取組状況	自己評価
a.　人間ドック受診枠の運用 b.　オプション検査の追加 c.　特定健診・がん検診の拡充 d,　室料差額の減免取扱いの適正化	a.　健診枠を柔軟に活用することで、協会けんぽ健診の増加を図るとともに、健診部の直通電話を設置し、利便性の向上に努めた。 　また、ジャパンマンモグラフィーサンデーを実施し、日曜日に乳がん検診を実施した。 b.　健診の充実のため受診者からの要望等に基づきオプション検査を追加した。 c.　健診を起点とした患者数確保のため、令和８年度からの特定健診・がん検診の拡充に向けた調整を行った。 d.　減免規程の再確認の徹底により室料差額が増加	B

主な実績

項目		R5年度実績	R6年度実績	R7年度目標	R7年度実績	推進状況
成人病検診	(人)	1,079	1,133	1,100	1,285	A
一泊人間ドック	(人)	36	38	40	32	C
日帰り人間ドック	(人)	557	555	560	617	A
脳ドック	(人)	140	161	160	140	C
乳児・新生児健診	(人)	161	139	200	150	B
妊婦健診	(人)	1,344	1,378	1,500	1,276	C

３　経営資源の強化

⑷　医療技術部門の取組　（ア　薬剤業務）

主な取組目標	取組状況	自己評価
a.　薬剤師の入院棟配置 b.　抗がん剤調製の100%実施の維持（休日対応含む。） c.　後発医薬品の採用促進 d.　医薬品情報等の情報提供強化 e.　チーム医療 f.　安全管理への取組み	a.　病棟薬剤業務は、20時間／週を維持している。 b.　抗がん剤調製業務量は、100%実施中。 c.　薬事委員会で後発医薬品への切替えを検討し、順次切替え、後発品の使用割合は、90%台を、カットオフ値も50%を維持した。 d.　院内ＬＡＮ等による情報提供、他部門と共催の勉強会等による情報共有化を強化した。 持参薬チェックなど、入院前支援業務に取組んだ。 e.　各種認定薬剤師が、積極的にチーム医療に取り組んだ。 f.　配薬管理が必要な患者の持参薬を一手に引き受け、捌くことで医療安全の向上（重複投与防止など）に取り組んでいる。	B

主な実績

項　　目		R5年度実績	R6年度実績	R7年度目標	R7年度実績	推進状況
ハイリスク指導件数	(件)	5,454	4,357	4,500	4,310	C
その他指導件数	(件)	5,430	6,326	5,500	6,719	A

３　経営資源の強化

⑷　医療技術部門の取組　（イ　検査業務）

主な取組目標	a.　人材の確保・育成 b.　各科からの検査要求対応 c.　チーム医療への参画	取組状況	a.　・細胞検査技師スキルアップ ・各種資格の取得 ・超音波検査担当者の養成 ・個人における業務習熟範囲の拡大 b.　・緊急検査への柔軟な対応、迅速な報告 ・休日の大腿骨頸部骨折検査対応 ・迅速細胞診検査への対応 ・超音波検査予約枠の見直し ・ハンドグリップ負荷後心エコーの開始 c.　・感染管理(ICT・AST)、栄養サポート、糖尿病教育、高齢者サポート、臓器移植等への参画	自己評価 C

主な実績

項目		R5年度実績	R6年度実績	R7年度目標	R7年度実績	推進状況
超音波検査件数	(件)	8,009	8,109	9,000	8,032	C
肺機能検査件数	(件)	1,710	1,816	1,800	1,794	C
脳波検査件数	(件)	163	155	200	126	C
ＡＢＩ検査件数	(件)	442	419	500	361	C
心電図検査件数	(件)	9,279	9,223	9,200	9,103	C

3　経営資源の強化

(4)　医療技術部門の取組　（ウ　放射線業務）

主な取組目標	取組状況	自己評価
a.　3.0テスラMRＩの運用 （H26.7月から稼働） b.　スタッフの育成	a.　地域の医療機関と連携を強化し、紹介患者の受入に積極的に取り組んでいる。感染対策に留意しつつ、救急患者などの緊急検査を迅速にこなせるよう努力した。撮影プロトコルの見直しなどにより、よりよい画像を提供している。 b.　診療放射線技師法改定に伴う告示研修に参加した。認定資格の新規取得と更新に取り組んだ。新人技師の育成に努めた。	B

主な実績

項目		R5年度実績	R6年度実績	R7年度目標	R7年度実績	推進状況
CT件数	(件)	15,527	15,157	15,600	14,408	C
MRI件数	(件)	5,346	4,969	5,000	4,783	C
RI件数	(件)	551	512	450	404	C
マンモ件数	(件)	1,474	1,468	1,450	1,429	C
アンギオ件数	(件)	275	275	300	209	C
骨塩定量件数	(件)	1,324	1,343	1,300	1,444	A
一般撮影件数	(件)	23,074	23,196	23,500	23,232	B

３　経営資源の強化

⑷　医療技術部門の取組　（エ　リハビリテーション業務）

主な取組目標

a.　施設基準の維持

b.　充実したリハビリの実施
　　実施目標１日１人「18単位」

c.　365日リハビリに向けた体制づくり

d.　院内外に向けた啓発活動

e.　スタッフの育成

取組状況

a.　地域包括ケア病棟のリハビリ平均2単位以上を維持、回復リハ病棟入院料3を維持

b.　R7年度の平均取得単位数は17.4単位

c.　継続的な入院リハビリ治療を実施。R7．10月から休日出勤回数を6回から9回に拡大
（R8.9月～回リハ病棟は365日リハビリ実施体制）

d.　地域支援事業（自立支援型地域ケア、フレイル訪問指導、認知症初期検討委員会等）に参画

e.　診療報酬に影響する資格取得や専門性を高めるための講習会や研修会に参加

自己評価

B

主な実績

項　　目		R5年度実績	R6年度実績	R7年度目標	R7年度実績	推進状況
脳血管疾患リハ単位数	（単位）	40,046	40,927	41,500	42,448	A
廃用症候群リハ単位数	（単位）	23,263	19,108	22,500	20,627	B
運動器リハ単位数	（単位）	28,377	25,781	29,500	34,158	A
呼吸器リハ単位数	（単位）	8,384	6,849	7,400	8,940	A
摂食療法リハ単位数	（単位）	1,358	951	1,300	1,158	B
がん患者リハ単位数	（単位）	163	53	50	62	A

３　経営資源の強化

⑸　地域医療連携への取組

主な取組目標

. 地域医療支援病院承認要件の維持

b. パスによる連携強化

c. 地域医療機関との連携

d. 退院調整の強化

取組状況

a. 紹介率の維持に向けて、「 内科ホットライン 」 の運用や広報紙の発行などによる情報発信に努めた。

b. 入院早期から対象者へ、リハビリ病院の情報提供や退院調整を行った。

c. 当地域において、医療提供の役割を果たすため、前方、後方支援をはじめとした病院と地域をつなぐための体制強化に努めた。
開業医、事業所等の訪問による意見交換。

d. 入院前支援を開始したことにより、入退院に関する情報の共有が早期に行えるため、必要な支援につなげることができている。

自己評価

B

主な実績

項目		R5年度実績	R6年度実績	R7年度目標	R7年度実績	推進状況
紹介率	(%)	81.9	85.8	80.0	85.3	B
逆紹介率	(%)	86.5	87.7	70.0	90.1	A
入退院支援加算１	(件)	3,071	3,096	3,100	3,525	A
介護支援連携指導	(件)	371	319	319	293	C
退院時共同指導	(件)	73	76	76	58	C

３　経営資源の強化

⑹　その他の取組･強化

主な取組目標		取組状況		自己評価
	〔診療報酬の適切な請求等の強化〕 a.　診療報酬請求の精度向上への取組 b.　診療報酬査定・返戻の分析及び医師への提言		a.　診療報酬改定に伴う情報を院内へ発信している。また、委託業者と精度向上のための課題や問題点について協議し、対応している。 b.　査定・返戻の内容を精査し、必要の都度診療科や医師へ確認及びフィードバックを行った。	A
	〔経費削減〕 a.　医薬品、診療材料の値引きの促進 b.　効率的な施設運営による光熱水費節減		a.　値引き交渉、同種同効品への切り替えを行った。 b.　照明器具の老朽化に伴う修繕時に、LED化を進めた。	
	〔その他〕 a.　未収金徴収の強化 b.　滞納者に対する再来自動受付機の使用制限による直接受付時の面談実施 c.　ボランティアの受け入れ d.　看護業務の平均化への取組み e.　手術室２名宅直体制を継続		a.　職員による訪問徴収に加え、弁護士事務所に未収金回収業務を依頼した。 b.　滞納者に対する再来自動受付機の使用制限による直接受付時の面談督促を継続。 c.　植栽ボランティアを受け入れた。 d.　各部署間の応援体制を継続した。 e.　手術室の２名宅直体制をとっている。	

４　職員の確保と意欲向上

(1) 医師確保

主な取組目標	取組状況	自己評価
a.　公募等積極的な募集 b.　病院見学、病院説明会 c.　院内保育所の有効活用 d.　医師事務作業補助者による医師の事務処理の軽減	a.　西脇病院の魅力アピール、ホームページによる積極的な医師募集及び医師紹介業者への対応を強化した。 b.　病院見学の実施及びオンラインを活用した病院説明会に参加。 c.　これまで利用実績があり、受入れ態勢は整っている。 d.　医師事務作業補助者による医師の事務処理の軽減を図った。	B

主な実績

項目		R5年度実績	R6年度実績	R7年度目標	R7年度実績	推進状況
医師数	（人）	55	56	55	54	C
研修医数	（人）	13	12	12	12	A

4　職員の確保と意欲向上

(2) 看護師確保

主な取組目標	取組状況	自己評価
a.　院内保育所の有効活用 b.　修学資金制度の継続実施 c.　スキルアップのための研究、研修会への参加支援 d.　確保・離職防止のための改善の検討強化 e.　看護学校へ講師派遣と実習生受入れの充実 f.　中学生のトライやるウイーク及び高校生のインターシップの受入れ	a.　院内保育による育児短時間勤務を活用した看護師の早期復帰。 b.　修学資金制度を実施し、看護師等の確保に努めている。 c.　積極的な研修参加の推進と参加支援を継続した。 d.　早出遅出勤務の導入や部署間の応援体制をとっている。 e.　継続して実施した。 f.　随時、受け入れた。	B

主な実績

項目		R5年度実績	R6年度実績	R7年度目標	R7年度実績	推進状況
奨学資金貸与者数	(人)	8	4	8	8	A
年度末正規看護職員数	(人)	244	233	221	221	B

４　職員の確保と意欲向上

⑶ 職員の意欲の向上

主な取組目標	a.　職員満足度アンケートの実施（年２回） b.　モチベーションアップチームの活動継続 c.　参加しやすい院内研修 d.　院外研修への参加支援 e.　西脇病院フェスタの実施	取組状況	a.　年２回（６月・12月）実施した。 b.　職員満足度アンケートの実施、その他の活動内容を引き続き検討している。 c.　計画的に、感染対策研修会・院内研究発表会等を開催している。 　動画配信による研修等も実施した。 d.　医療技術職や看護職等、各種研修会への参加を支援している。 　オンラインによる各種研修会等にも参加している。 e.　病院フェスタは開催できなかったが、６年ぶりに院内コンサートを再開し、約 300人の来場があった。	自己評価 A

５　再編・ネットワーク化

取組状況

・医師の派遣	西脇病院から派遣	西脇病院へ派遣
多可町内診療所	内科（H23.2～）	―
多可赤十字病院	皮膚科（H23.1～） 総合診療（H27.8～H29.8） 外科（H27.8～H29.7） 内科（H31.4～） 乳腺外科（R2.12～） 整形外科（R3.4～R3.9）	人工透析（H29.9～R2.3）
加東市民病院	皮膚科（H23.4～） 内科内視鏡（H26.4～H31.3）（R4.4～）	血管外科（H21.4～）
県立丹波医療センター	放射線科（H20～R4.3）	―
公立八鹿病院	麻酔科（H31.4～R3.6）	―
公立豊岡病院	麻酔科（R元.6～）	―
北播磨総合医療センター	―	心臓血管外科（R元.10～） 超音波内視鏡（R元.12～R3.6） リウマチ・膠原病内科（R3.6～R8.3.31）
はりま姫路総合医療センター	―	超音波内視鏡（R4.5～）

自己評価

A

・地域医療連携システム「北はりま絆ネット」の本格運用を継続中